

 議会だより

ここのえ

新年が

良い年で

ありますように

No.112 2016.1.17発行

12月定例会

- 平成27年度補正予算 P.2
- 今後5年間の主な計画 他 P.3
- 常任委員会報告 P.4
- 総合こども園特集 P.6
- おでかけ議会報告 P.8
- 一般質問 9名 P.10
- わたしのひとこと P.19

野上・寺田 武石 丸美さん
飯田・北方 甲斐 誠司さん

発行／九重町議会

編集／議会広報特別委員会

平成28年1月17日

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野止8番地の1

☎0973-76-3814 FAX(0973-76-3809)

メールアドレス(議会議務局)gikai@town.kokonoe.lg.jp.

平成27年 第4回定例会

本定例会は12月1日から18日までの18日間開催されました。

議案17件、陳情2件を慎重に審議しました。

平成27年度一般会計補正予算(第5・6号)

補正額 9,653万9千円 増額
補正後の額 84億784万6千円

◆ 補正予算ピックアップ ◆

歳入

- 地方交付税 3億5,506万8千円 (補正後の額26億5,506万8千円)
普通交付税及び臨時財政対策費の決定に伴う追加
- 過疎対策事業債 地区体育館耐震化補助金 7,000万円
- 臨時財政対策費 3,657万円
- 防災・安全社会資本整備交付金 1,808万2千円
- 減債基金繰入金 3億2,000万円 減額
減債基金の当初繰入分
- 住宅・建築物安全ストック形成事業補助金 6,109万8千円 減額
- 特定防衛施設周辺整備調整交付金 517万円

歳出

- 障害者介護・訓練給付金 1,200万円
- 国民健康保険特別会計繰出金 1,829万円
- 住宅・建築物安全ストック形成事業補助金 8,146万4千円減額(工事延期)
- 富迫集会所建設事業費 3,214万円減額(事業中止)
- 飯田・南山田地区(旧中学校)体育館耐震強化事業 9,050万円
- 町有施設整備基金積立金 8,600万円
- こども園(幼保一体化)通園バス2台 850万円減額(1台減車)
- 特定防衛施設整備事業(町道舗装改修2路線) 3,500万円
- 南山田ふれあい交流センター事業費 973万5千円減額(入札減額)

● 財産取得について

事業名	園児送迎バス
取得物件	マイクロバス 2台
取得金額	11,000,000円

野上・東飯田地区の園児について、既存の保育園・幼稚園をステーションとして、町立こども園(仮称)の間を送迎するバス(マイクロバス)2台の財産取得案が上程され、可決しました。

● 町立こども園(仮称) 工事請負変更契約について

町立こども園(仮称)新築工事で、変更契約額として2,904万円、総額6億26万5千円の変更契約案が上程され、可決しました。理由は、庭園の湧水処理の暗渠配水・家具をつくりつけ・保育室内装の珪藻土を木材に変更することによるものです。

新年のごあいさつ

議長 日野 康志



新年明けましておめでとう
ございます。

旧年中は、町づくりにご協
力頂き、感謝申し上げます。

さて、昨年は「地方創生」
元年として議会で特別委員会
を設置し、提言書をまとめて
執行部へ提出しました。時代
のスピードが急速に変化する
なかで、町が生き残る方策を
見出していくためには、臨機
応変な対応が求められていま
す。議会といたしましても、
「お出かけ議会」を継続し、
住民の声をよく聞くことが大
切と考えています。そして、
共存共栄の町をつくるために
は、協働の原点に返り、住民



の皆さんと共に働き、共に協
力して、人を大切にするこ
が大切と考えています。

最後になりますが、本年
が住民の皆さんにとって良き
年になりますよう、ご祈念申
し上げて新年の挨拶といたし
ます。

教育委員会委員

佐藤 テイ子氏の
再任に同意



佐藤 テイ子氏

現教育委員の佐藤テイ
子氏が、平成28年1月26
日で任期満了となるた
め、同氏を教育委員とし
て再任することに満場一
致で同意しました。



奥野地区定住促進住宅整備



飯田簡易水道施設整備



南山田地区交流センター整備

過疎地域自立促進計画 今後5年間の主な事業を策定

来年度の主な計画です

その他

- 給食センター備品更新
- 特定建物耐震化
- 文化センターリフレッシュ

29年度の計画

- 東飯田小学校管理棟改造
- ふれあい交流センター野上地区

30年度の計画

- ケーブルテレビ機器更新
- 野上小 教室棟改造
- 飯田町営住宅整備
- ふれあい交流センター東飯田地区

31年度の計画

- 防災無線デジタル化
- 野上小学校管理棟改造
- 野上簡易水道整備

様々な計画の中で、主な
ものだけ載せております。

この他、ケーブルテレビ、
防災無線の更新や、町内の
橋を計画的に修繕するなど、
年度を超えての計画も含め
ての策定です。

実施に際しては、再度、
内容の検討が行われます。

審査報告

議案 7 件

陳情 1 件

道路認定について（2路線）

町道書曲川上線から分岐した宝八幡宮駐車場入口の40mの区間。平成26年第2回定例会で陳情を採択したものを。

県道飯田高原中村線のバイパス工事の完成に伴い、旧県道867・4mの移管を受けると、2路線を採択したものであり可決しました。

九重町農業委員会定数条例の全部改正について

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴うもので農業委員の選出方法が、公選制から市町村長の任命制となり、その定数を定めるもので、九重町農業委員の定数を11人と定めるものであり可決しました。



町道二又木梅木津留線認定箇所

九重町農業委員会農地利用最適化推進委員定数条例の制定について

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴うもので、農地利用の最適化を推進するため農地利用最適化推進委員が新設されることからその定数を定めるもので、九重町農地利用最適化推進委員の定数を12人と定めて、各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例において委員報酬の額の規定を定めるものであり、可決しました。

町税条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、町税条例の一部を改正する必要があるため、改正を行うものであり、改正の一条は納税者の負担軽減や早期の納税の履行を確保するため、やむを得ない事情がある場合、分割納付を可能にすることや納税を行うことにより事業継続や生活の維持が困難になる場合、

納税者の申請により、財産の差し押さえや差し押さえ売却の猶予ができること、するものである。第二条は町税条例に規定する納付書、納入書に記載すべきとした法人番号を当分の間、記載しないことにするものであり、可決しました。

九重町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

個人番号利用事務は社会保障、防災対策の分野に限定されているが、これらの事務に類する事務で地方公共団体が個人番号を利用又は内部

あり、可決しました。
恵良駅兼先哲資料館の設置及び管理に関する条例の制定について
平成27年3月に落成した

恵良駅兼先哲資料館の開館時間や管理方法を規定した条例の制定をするものであり可決しました。

過疎地域自立促進計画について

現計画の本年度終了に伴い平成28年度より5カ年計画を作成するもので、第4次総合計画を基本に総合戦略に位置づけた施策を実施するものであり可決しました。

まとまった農地で効率よく営農したいと思ったら...

1 あー、散れた！
また次の田んぼに移動しないよ！
助い平田 助い平田
どうしたんだい？

2 離れた農地があつてこぢんまりして作業も移動も大変だよ！
僕もだよ。農地を借りることができても希望どおりの場所というわけでは無いからねー

3 市町村に相談してみよう！
何か良い解決案を提案してくれるかも、しれないね！

4 まとまった農地で効率よく作業したいのだから...
そういうことなら お二人とも「農地中間管理機構」に農地を貸してください。お二人の形でも利用できるよう配慮して貸し付けます。

審査報告

議案 2件

陳情 1件

新たな地熱開発 届出などが必要に

九重町地熱資源の保護及び
活用に関する条例の制定に
ついて

現状は

- * 様々な業者が開発を計画。
- * 今、基準としている温泉法では、地元の同意が義務付けられていない。
- * 職員では、専門知識に乏しく対応に支障がある。
- 地熱開発をめぐり、こんな問題が生じています。

● 今回の条例の目的

- * 業者に対し、段階に応じ、計画書の提出を求め
- ることで、町の同意が必要となる。

* 地元、関係者への説明会の開催を可能とし、トラブルを避ける。



今年度稼働した菅原バイナリー発電

* 学識経験者や関係者による、検討委員会を設置して専門的知見からの意見を参考にできる。

● 委員会での議論

反面、有効活用も求められる中、開発の締め出しによる不利益を危惧する意見もあり、検討委員会の構成に留意することを執行部に求め、委員会としては、現状の課題を総合的に判断し町民のためには、この条

例、を制定することで意見が一致、可決しました。

各種委員会の報酬及び費用弁償条例の一部改正について

「まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」及び「地熱発電事業検討委員会」を新たに設置することに伴

い、その報酬等を定めるものです。

具体的に、学識経験者は日額一万二千元、その他委員は、日額三千元であり、可決しました。

みなさんの陳情はこうなりました。

九重町消防団4分団9部詰所近接地、土地購入についての陳情

詰所は鶴神社所有地に隣接して建設されており、出入りには神社の土地を通行せずには業務できない状況であることは理解ができませんが、平成22年に現在地に新築移転した時の協議では神社所有地を無償で使用できることが合意できていたことであり、議会も詰所の新築移転を認めた経過があります、町内の消防詰所の移転先の用地は地元確保を原則としていることであり、今後とも公平な執行を行うにあたって、九重町での土地の買収はすべきでない判断し、不採択としました。

は自律推進計画に基づき配置され、職員数に制限がある、厳しい現実もあります。

今回の陳情は、特定の部署に対するものであり同様な課題をもつ部署もあり、委員会としては、総合的な判断をせざるを得ません。

しかし、町民の健康管理及び町が進める健康寿命日本一への計画からみても、陳情の趣旨は充分理解できることから「趣旨採択」することとしました。

常勤管理栄養士の配置を求める陳情

現在、職員の規模、配置



食推協の地元産品の新料理開発

いよいよ開園

開園を検証

朝元気に登園しても、急に熱を出す、保護者は動機で、すぐに迎えに行けない。こんな事態は十分に考えられます。総合こども園では、特別な部屋を設け、ほかのこども達に影響を与えず、一時的に預かれる環境を整えました。議会は、そのための条件である、有資格者の確保を、執行部に強く求めました。

急な発熱の 対応を検証



児童と保育士



建設中の総合こども園を視察



通園風景

3才までの園児は、保護者が送迎することとなり、年長園児が利用する、通園バスとともに、事故は絶対に避けなければなりません。特に、登園時間帯は、車両が集中すると思われる。朝は、気持ち的に焦りもあるうえに、新設の進入路の入り口を中心に、運転者が慣れるまでの一定期間、何等かの対応をとるように指示をしました。

通園時の 安全対策を検証

総合こども園 スムーズな

待機児童の 解消を検証



児童館で過ごす親子



東飯田地区ステーション候補地

通園バス ステーションを検証

年度当初ゼロだった待機児童が、現在数名います。要因は、園児の数に対して定められている職員数の不足です。役場正規職員の数が制限されており、人材確保が厳しい現状は理解できませんが、こども達のため、多額の投資を行い素晴らしい建物も建っても、必要な保育を受けられない、待機児童が存在してはなりません。必要人員の検証など行いました。



野上地区と東飯田地区の4、5才児は通園バスの利用が可能です。地区に一か所、ステーションを設け、保護者はそこまで送迎することとなります。心配されるのは、バスの時刻ピンポイントで送迎することは、時間带的にも保護者には、大きな負担になりかねません。ステーションに園児を預けられる時間帯を設けるための検討を指示しました。

おでかけ議会実施

11月21日(土)・11月22日(日)

皆さん方からいろんな意見や要望等が多く出されました

話された主な意見

- Q** コミュニティバスの運行で、フリー乗降はできないか。
- A** 27年4月より国道210号線以外の道路で安全な場所はできる。
- Q** 健康寿命の延伸の取り組みは。
- A** 夢サロンを36カ所で開催し、参加者も増えているが指導期間が過ぎると活動が減少している所もある。
- Q** 28年開園予定の総合こども園（仮称）、保育士の募集をしているが。
- A** 保育士の確保は委員会等で議論している。
- Q** 日田バスが町内路線から撤退と聞くと時期はいつか、また町は補助金を出している、撤退後の地域交通をどのように考えているか、コミバスとスクールバスの総合活用はできないか。
- A** 日田バスより町内路線から28年9月末で撤退申し出があるが町は29年3月末まで伸ばす要望をしている。飯田小学校、美山高校通学や観光、病院の通院など地域交通の総合体系を議論している。
- Q** 総合こども園開園に向けて、園児の確保は大丈夫か、東飯田地区の入園児は減少しないか心配。待機児童がでないように、保育士の確保や園児の送迎、進入路の安全対策は。
- A** 総合こども園開園に向け、東飯田地区は旧東飯田中学校、野上地区は現幼稚園で4才から5才児を通園バス送迎、南山田地区は現状態で、待機児童・保育士の確保は委員会等で議論。進入路の交通安全対策も委員会で議論している。執行部にその旨を伝える。
- Q** 飯田の養豚場建設計画は説明会後どんな動きか。
- A** 現状は建設計画等提出されてなく調査研究中。
- Q** マイナンバー再発行は有料とのこと周知すべきでは。
- A** 担当課が周知に努力している。紛失しないように保管をお願いしたい。
- Q** ここのえ学園構想よく理解できない。
- A** 町の行政広報等で知らせているが周知できていない部分もあると思う。
- Q** ふるさと納税の取り組みは。
- A** 他の市町村と比較すると低額である。返礼品等の関係も十分に考えられるので議論している。
- Q** おでかけ議会は、もう少し参加者を増やしてほしい。
- A** 多くの参加ができるよう議論している。
- Q** こどもの遊び場を造ってほしい遊園地など
- A** 議論中
- Q** 町出資の100%会社について失敗しないように。
- A** 行政としっかり協議していく。
- Q** 伍代跡地利用、ふるさと館を発展させたらどうか。
- A** 協議検討していく。
- Q** 防犯カメラを設置していく必要があるのでは。
- A** 計画的に設置しているが問題点もある。



活発な意見が出された野上地区

研修・視察 報告

全国町村議会
広報研修会に参加

皆さんに読んでいただける 議会だよりを目指して

10月20日から2日間、全国市町村議会の広報研修に議会だよりを作成している委員、6名で参加しました。

町民にお届けしている「議会だより」は、原稿は当然のこと、紙面の配置、見出しの付け方、写真の撮影まで、全ての作業を議員自身が行っています。

読みたくなければ意味がない

今回の研修で改めて再認識

したのは、いくら伝えたい情報を掲載しようとしても、読んでもらえねば、何の意味もない、という基本です。

皆さんが手に取り、読みたくなる紙面を作るため、具体的な手法を、今回の研修で学ぶことができました。

大切なことは実践

大切なのは、町民のためにかに実践して、紙面に活かせるのか、挑戦を続けます。

いざ実践

研修を活かすため、今回議会だよりの作成にあたり、幾つか試みてみました。

① 伝えたいことを、文章に頼り過ぎず、写真などを有効に活用する。

② 専門用語は極力避け、読む側の目線で文書表現する。

③ 見出しや、時には空白も利用し、「文字の詰込み」の印象を避ける。

陳情を受け 熊本の玉名養豚場を視察

11月12日に議員全員で建設予定地の湯沢地区とJAB九州ファーム(株)経営の熊本県玉名農場を視察しました。

湯沢では、農場の事業計画について、施設の規模や建物の位置等を現地に合わせた説明を受け、現状の田、山林、農道、川等々の計画地内の現状を確認し、調査を行いました。

玉名農場では視察用の防護服に着替えての施設内の見学となりました。

場所は集落より少し離れた所であり、近くにはゴルフ場も見えていました。

施設内の豚舎、汚水処理方法、浄化の状況、におい、糞処理の堆肥化等々



玉名農場の視察状況

ずばり町政を問う

9名が一般質問

- ◆ 地域交通の効果的な運用は
..... 空いた時間を利用できるように検討したい
- ◆ 健康寿命延伸の具体的目標は
..... めじろん体操など推進
- ◆ プレミアム商品券販売直後に売り切れ、問題等は
..... 特に問題は聞いていない



小川 克巳

● 地域交通の 効果的な運用は

小川 スクールバス10台、コミュニティバス（9路線）3台と、新たに28年度より通園バス2台を購入する。路線バスの赤字補填も含めると維持費は莫大な金額になる。スクールバス、コミバス、通園バス、路線バス等効果的な運用を図るべきでは。

町長 運行の仕方については指摘のとおりで、スクールバス等あいた時間をうまく利用できるような検討したい。日田バスが路線バスから撤退したい旨の申し入れもある中、交通網の計画を全体的に練直す必要がある。

● 健康寿命延伸の 具体的目標は

小川 少子高齢化が進行する中、町民の健康づくりは急務である、医療費も年々上昇、国民健康保険、介護保険共に危機的状況である。ひとりスポーツの推進や食育の推進をはじめ、健康人づくりを進める健康寿命延伸の具体的な目標を立てるべきでは。

町長 健康づくりが重要であり町では乳幼児から高齢者まで健康づくりに取り組んでいる。



待機中のスクールバス

医療費から見ると、糖尿病患者の重症化が見られる他、人工透析等や脳血管疾患が上位を占め、運動の推進が必要となっている。介護予防も重要であり、週1回運動するめじろん体操を取り入れた県の介護予防モデル事業に取り組んでいる。効果の検証を行い、今後

● プレミアム商品券 販売直後に売り切れ 問題等は

小川 本年度の商品券は販売直後に売り切れ状態と聞いたが問題等はなかったか。
町長 特に問題等は聞いていないが商工会等に聞いてみる。

運動の推進を行いたい。



めじろん体操で元気いっぱい

有吉
富生



◆マイナンバー制度…課題と対策は
……………町民への周知、敏速な対応を図る

◆農業振興…町民に合う農地利用、事業推進は
……………関連機関と連携を密にして推進を図る

●マイナンバー制度

有吉 町民に簡易書留で届けられました。町民の受け取り状況はどうか

町長 住民課に戻ってきている所帯ごとの簡易書留は8日現在411通で、うち63通を受け取りにきている。

有吉 住民課に転送された通知カードは町民にどのよう周知して届けていくか。

町長 住民課で文書通知して来庁いただき本人確認の上、通知カードを渡す。受け取りがない場合3か月保管して破棄する。

有吉 今後の役場の利便性は。

町長 窓口で申請時の書類確認が省略され、事務の効率化や町民の利便性の向上になる。提示は通知カードで行政手続きに不都合はないが、個人番号カードは身分証明や各種の行政手続き等に使用できる。

有吉 通知カードや個人番号カードの有効期限、更新は。

町長 通知カードは有効期限はないが、個人番号カードは発行日から10回目の誕生日までが有効期限となる。20歳未満は5回目の誕生日で更新することになる。

有吉 マイナンバー制度についての詐欺や問題点が全国的に発生しているが町として対策を検討しているか。

町長 様々な問題が発生している、国のマニュアルもあるが敏速に対応ができるよう、住民課で都度対策を検討している。



耕作放棄地と鳥獣被害の状況

●農業振興、耕作放棄地について

有吉 農地として耕作できない放棄地がどのくらいあるか。

町長 前回の農林業センサスで耕作放棄地は146ヘクタールであり、再生可能な荒地は26ヘクタールで再生可能な農地が120ヘクタール程度ある。

有吉 町として土地の対策利用を計画し進めているか。

町長 これまで企業参入や国、県の制度の活用やトウガラシの栽培などに取り組んできた。対策についても関係機関と連携を図り町に合った施策を検討している。

有吉 補助金の取れる裏作や事業の取り組みは十分に農家へ周知されているか。

町長 いろいろな支援や補助金制度、事業があるが、広報やケーブルテレビで啓発を行っている。

有吉 農業政策で今後は地域の担い手、認定農業者を増やす取り組みが必要では。

町長 これからいろいろな制度を受けるために認定農業者や経営体でなければ難しいこととなる。関係機関と協力を図りながら、拡大を図っていく。

有吉 行政職員と農業関連機関の職員協議が十分されているか。

町長 農協の部会等を中心に連携を図っているが、制度も難しくなっている。農家へ浸透するよう検討し対応を図っていく。



マイナンバーに関する窓口対応

坂本 憲治



◆化学薬品のPH調整剤とは
安全な食文化は大切だ
◆デスティネーションキャンペーン結果と課題は
キャンペーンを精査し観光振興を行う

●化学薬品のPH調整剤とは

坂本 インターネットに出ている、PH調整剤、法的にも認められた添加物であるが数種類の調整剤があり、使用量については、制限はない。毎日必要以上に摂取すると、危険性もあるとのことである。町の食材は、安全な物でなければならぬ。次を担う人材に対して、今以上に支援するべきだと考えるが。

町長 安全で安心な、日本の食文化は大切だ。自立推進計画でも、米を主力として、各品目で振興を図る。



安全でおいしい九重町の特産品

●農業の担い手



担い手不足は深刻

坂本 農業の担い手は、20代から、50代まで、町内に何人の人がいるか。

町長 約50人位であるが、それ以上の高齢者が主力である。

坂本 担い手が育たないのは、十分な所得が得られない事が大きく考えられる。今以上に、担い手の支援をすべきでは。

町長 まち、ひと、しごと、

●デスティネーションキャンペーン結果と課題は

坂本 キャンペーンによる町内の結果や課題について伺いたい。

町長 各方面に観光宣伝を実施した。町内宿泊数は32%の伸びと報道されたが、現場としては、そんな実感はない。

坂本 将来につながる



ふるさと館で特産品をPR

町長 今後、精査をしながら、観光振興につなげたい。



韓国からの観光客

佐藤 明郎



◆ 過疎計画 今後5年間の主な計画 町民サービス低下は許さない

守っていく

3月議会及び
6月議会の経過

● 住民サービスの維持は

佐藤 今年度の当初予算を審議する際に、借入金と貯金取壊しの多さを指摘。

将来的に住民サービスの低下につながるのか正した経過がある。

町長 執行部の現在の考え方は、大型事業も計画されているが、町民のサービス低下を招かぬようにやっていく。

● 地区集会所 建替への考え方

佐藤 6月議会において、地区集会所の新築にかかる地元負担を20%から10%に下げた。目的を再度確認したい。

教育長 地元負担金を軽減し、施設の更新を促進し、地域の活性化を図りたい。

● 町長答弁と計画書の 内容にぎもん!!

佐藤 今後5年間の主な事業計画が示された。その中の記述（下表参考）には、答弁にあった「住民サービスは低下させない」及び「地区集会所の更新を促進」とは逆行するものではないのか。

町長 住民サービスを見直すという意味ではない。やらねばならない所は、しっかりやっていくが、部分的な改良で良いものは、その方向を検討したい。

● 充分、内部検討したのか

佐藤 町有施設に経費がかかり過ぎとの指摘をしてきた。今後の投資を抑制など、どのように検討したうえで今後の展望を示したのか。

町長 必要以上の計画は見直し、計画を減らした。この先5年間の大型事業を職員が把握しておかないと、危機的というか、大変であることを意識してやるという意味で示した。



自主的に健康づくりに励む町民（東飯田グラウンドゴルフ協会）

今回、今後5ヶ年の計画に示された「今後の展望」の一部

……したがって、今後も吊橋の利益分については、基金に積み立てるとともに、菅原の発電の使用料についても基金に積み立てる必要がある。今後、集会所並びに消防詰所の建て替え基準についても見直しが必要である。また、町道の新設改良なども抑制し、現状の道路維持に方向転換する時期に来ていると言える。

● 「町民サービス低下させない」再度明言を

佐藤 早くから、計画されていたことであり、私が言いたいのは、約束して来た「町民サービスは低下させない」この答弁を再度、明言して頂きたい。

町長 今回の計画を実施するに当たっては、再度、十分に精査をし、変更や、先延ばしも含め、財政の悪化をまねかないようにやっていく。

佐藤 太治



- ◆ 町道の通行を妨げる支障木について協議
..... 地主が整理するのが基本
- ◆ 集会所の改修について
..... 限度額等現在検討している
- ◆ ふるさと納税の現状は
..... 現在144万円ほどある

● 町道の支障木の整理

佐藤 町道にかぶさって通行に危険な支障木の整理について町としての対応はどうなっているのか

町長 法的には地主が処理するのが原則であり、町が処理をするということにはならない。町道は320キロあり、これを全て町でするということになると大変である。

佐藤 現在町にある道路維持整備班の拡充は考えられないか。

町長 作業班がするのは町の敷地内の作業であり、支障木は持ち主が処理するのが原則である。



通行を妨げる支障木

● スポーツ環境の推進は

佐藤 今健康寿命を延ばすためにスポーツの推進を言っているが、環境はどうなっているのか。野球には

野球場、陸上には陸上競技場とメインのグラウンドが後発のゲートボールやグラウンドゴルフ等メインの環境はどうなっているのか。

町長 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備することは最も重要なものであると認識している。大きな大会では多目的グラウンドを利用し、ゲートボールやグラウンドゴルフは

しっかりとした組織であり、自主的、主体的な運営が行われている。

● 集会所の改修について

佐藤 集会所の改修状況費用件数はどうなっているか。

町長 地区集会所改修事業補助金交付要綱は金額一件一〇〇万円限度額、三分の二以内の補助、物価高騰で新築困難な所もあり大きな

集会所の改修費用は100万円の限度額では少ないのではないかと言うことで現在検討をしている。

● ふるさと納税について

佐藤 ふるさと納税の納税状況、金額、一番の人気商品は何か。

町長 現在、入金があったのは11件82万円、申し込み6件の64万円の計144万円、返礼品については11業者24品の登録で、一番の人気商品は、登録しているお米の物語の趣旨が理解され、米が一番多い状況である。

佐藤 大きな納税を受けている市町村は返礼品も充実しています。町も取り組んだ分百万円の成果があったのでただ頑張れというだけでなく数値目標をあげて取り組みはどうか。又町内の返礼品を十分に調査して取り組んだらどうか。

町長 事業者も自ら返礼品として登録しようとしなければ意味がない、商人と



築60年の集会所

して努力してもらわないと、我々が全て掘り起こすということは無理です。乾物とか年間を通じての品物もないか商品構成で御理解をいただきたい。

佐藤 現在、どの町村も昨年を上回っている所が多いので、数値目標を掲げ知恵を出し取り組みなら成果も上がるのではないか。

町長 これは本当にいい制度で、何とか努力はしているけれども、なかなか奮えないというのが現状で、ふるさと納税にみなさんの知恵も借りながら頑張りたい。

佐藤
博美



◆ 観光施設の老朽化対策は

..... 来年度より改修する

◆ 定住促進策は

..... 民間の力も借りていく



クロスカントリーコース

● クロスカントリーの改修計画は

佐藤 スポーツ観光の目だまとして、飯田高原の環境の良いところに九重町観光協会がコースをつくった。

当初は社会人・高校生の利用が多く、今は、コースが傷んで使えないと社会人は他の場所に行っている。

町としてスポーツ観光をどのように考えているか。

町長 平成26年に一部町が改修した経過があります。

今現在、張り芝の状況も良好な状態である。イノシシによつて被害が出てきている。牧草地の中と林間部分に分けて改修の計画をしている。



千町無田のマラソンコース

● 千町無田マラソン周回コースは現状でいいのか

佐藤 このマラソンコースは、高校生等利用者が多い。

住民が、草刈り等の道路愛護デーのときも走る人がおり地域から苦情もある。また、飯田デザイン会議によると、県の補助を受け、新コースの案もあると聞く。

町もスポーツ観光の取り組みをしており、町も絡んでいくべきと思うが。

町長 千町無田マラソンコースは、最初の起こりは飯田デザイン会議です。今、人気が出て、現在、多くの利用者がいる。

町としては、県と観光協会等でスポーツツーリズムについて協議をしていく。



泉水グラウンド

● 泉水施設の今後の方向は

佐藤 施設の老朽化とグラウンドの芝が傷んでいる。グラウンドの人工芝を張り替えて、大・学・高校生の短距離選手の合宿と、今後は民間の力を借りてはどうか。

町長 泉水は、温泉のある教育・キャンプ施設である。

ラグビー合宿に高校生も来ているが、大分国体時に湯布院に人工芝の2面コートが出来、投資をしてもお互いキャンプ地が分かれるだけと思っ

ている。町としては、施設を指定管理を含めて検討している。

● 九重町に住みたいが住宅がない

佐藤 若者が結婚して、九重町に住みたいが住む所がない。宅地をさがすが見つからない。他の町をさがそうかとも聞く。定住促進を行うためには、空家等の紹介と田野上中学校跡地の分譲等どのように考えているか。

町長 住宅に関しては、来年度、伍代跡地の奥野に建設する計画をしている。民間も、賃貸住宅等建設が進んでいる。田野上中学校跡地については、野上地区からグラウンドを残してほしいと要望がある。町内は農振地域が非常に多く、宅地変更が非常に難しい。金融機関に住宅用地として手放したい方がおれば情報提供をお願いして、町として住宅用地を確保したいと考えている。

増田 裕子



- ◆ 土地開発に対する町の基本姿勢は.....むずかしい問題
- ◆ 町 100%出資会社の計画は.....来年度予算に
- ◆ 地域おこし協力隊について.....計画中

● 土地を守り、町を守る。「日本一の田舎」の具体的な町としての姿勢や取り組みが必要では

増田 自然エネルギーの開
発などが最近非常に活発に
なっており、町民に不安も
広がっている。最近の土地
開発状況は。

増田 予想以上に開発計画
があがっている。

町長 大字野上5件（太陽
光発電所2、観光施設1、
農業用施設1、地熱発電所
1）、大字田野1件（太陽光
発電所）、大字町田2件（宿
泊施設1、福祉施設1）、大
字菅原1件（地熱発電所）。
いずれも開発届け出が出さ
れ完成されている所、一部
開発して進んでいない所等
がある。

町長 九重町は全体が筑後川の
最上流であり、すばらしい
所だ。この美しい町を守り
育てていかねばと思う。し
かしながら現実はどうか。
例えば大字田野を調べる
と、現在35%の土地が町外
者所有（住民票基準台帳調
べ）国有地も含めると町内
者の所有は半分以下。
住んでいる者が、管理で
きない土地に囲まれるとい
う虫食い状態が進む。大変
心配だ。町としての姿勢は。

町長 今国土調査をやって

● 組織的な動きを早急に摸索して
具体的な対策を早く出さねば

いるが、田野地
区はバブル時代
に別荘地など都
会の人買いあ
さり境界もわか
らないような状
況がある。全国
的には中国の人
が日本の山のか
なりの面積を
買っている問題
もある。日本一
の田舎づくり、
伝統や文化を
守っていくには、やはりこ
の景観を守っていかなきゃ
ならないが、所有権の移転
する。



美しい田園風景が広がる

増田 100%出資会社今

後の取り組み予定は。

町長 来年の3月までに会

社の将来像を描き定款を

作っていききたい。立ち上げ

に専任職員を置いて、来年

度予算には出資金も積み、

9月いっぱいには会社を作

りたい。10月以降外部から

経営者を招聘して再来年の
4月から泉水や吊橋など業
務委託していきたい。

他に、地域おこし協力隊
の活動状況と来年度の計画
について質問。将来4人各
地区協議会に派遣し地域に
根付いた活動計画を要請。

町長 役場に問い
合わせ等来ている
事業者の関係で
は、地熱発電所の
建設計画（長者原
4、菅原4、水分
3、野矢3）、太
陽光発電所が湯坪
1、養豚施設が湯
沢1である。



地熱開発のやぐらが建つ

奥野定住促進住宅等の建設



井上 里子

- ◆ 確かな整備計画は 住宅は2階建て、貸店舗は別建て
- ◆ 地元からの要望への対応は 地元の説明し、協議する
- ◆ 貸店舗の利用の仕方は まだ検討中である

井上 定住促進住宅等の実施設計委託業者が9月半ばに決まったが、建物がどのように建設されるのか見えない。確かな整備計画は。

町長 設計業者が決まり協議を重ねる中で、計画を変更した。住宅部分は木造の2階建て（単身世帯向け8戸、家族世帯向け6戸）、店舗と事務所は別に建てて、横に公衆トイレを整備する。

井上 住宅等の建設に関連して、地元行政区から町に要望書が提出されている。その内容は、

- ・ 町水道のパイプの変更
- ・ 防火水槽の新設
- ・ 生活排水の農業用水路への流入防止策

- ・ 里道の確保と整備
 - ・ 小学生の通学路の安全策
 - ・ 貸店舗の一角に農産物等の直売所の設置
- 要望にどう対応するのか。

町長 住宅等の整備計画を今回変更したので、その説

明に12月議会終了後地元に行く。その時地元からの要望を確認し、協議していく。

井上 貸店舗の利用の仕方は、商工会等の意見を聞き協議していくという答弁だったが、12月3日にその協議を終えて町として店舗をどのように利用する考えか。

町長 意見交換で商工会の考え等を聞いたが、町からの説明は図面を示して説明しないとわかりにくいので、12月議会が終了次第図面を持って商工会に説明に行く。

井上 貸店舗はふるさと館の機能を拡充した店舗がよいのではないか。

住宅に住む人々や前の国道を車で走る人々等が利用して、活気が出ると思う。ふるさと館は、駐車場が狭くても成り立つ利用の仕方に関係機関と協議して決めるとよいのではないか。

町長 ふるさと館は、土地



来年度、定住促進住宅・貸店舗が建設される奥野町有地

ここ数年、事業は順調に推進されていない。どう充実させるのか。

教育長 今のところまだ、具体的な手だてはないが、少し時間をかけて、しっかりと、また、地域の人々と、議論しながら、人材の発掘確保に努めていきたい。

● 「このえ夢ブランド」
「創造事業」に
どう取り組むか

井上 本事業は、町からの資料によって、事業内容と取り組みの仕組みはわかったが、今後事業をどのように実施していくのか。

町長 本事業の実施にあたっては、大学、金融機関等の参画をもって、町内団体との組織を作っていく。

ある金融機関とは、参画の内諾を得ているし、年明けには、町が連携している大学等を訪問し、町の取り組みへの協力を依頼する。

● 「学校支援地域本部事業」の充実

井上 本事業は、学校が必ず要とする活動を地域の人材が支援する事業であるが、

藤原 三治



◆自然環境を守る対策は

.....啓発を進めたい

◆農地を守り活かす対策は

.....支援をしたい。ご相談を!

● 外来種から
自然環境をどう守るか

藤原 日本に上陸したツマアカスズメバチ、セアカゴケグモ、オオハンゴンソウ等の、環境を脅かす動植物から町を守る対策はどのよう

町長 動物が97種、植物13種が法律で指定されており、オオハンゴンソウ、オオキンケイギクの2種は町

で防除計画を立てて防除に当たっている。

藤原 危険性があるツマアカスズメバチやセアカゴケグモ、アライグマなどを



大分市で見つかった毒のあるセアカゴケグモ



北九州に上陸した繁殖力の強いツマアカスズメバチ



黄色く美しいオオハンゴンソウ

ケーブルテレビやパンフレットを使い、町民一人一人で行ってはどうか。

町長 啓発不足などところはあると思うが、防除計画を立ててあり、啓発を進めたいと思っている。

藤原 遠方から群れを成して飛来するカワウがせつかく漁協の放流した魚を含め大量に捕食し、生態系が危ぶまれている。他地区との連携駆除はできないか。



大量に魚を食い荒らすカワウ

町長 鳥類について、県境が無いので、

の会議で取り上げながら、対策を一緒になって考えた

● 農地を守り活かす
対策は

藤原 せつかく整備して柵まで施した農地が支障木で収穫不能となり、耕作意欲を失う方が多く、このままでは周囲への悪影響も考えられる。町で何らかの支援はできないか。

町長 そういう箇所は多いと思われる。現在20人の農業委員が把握に努め解消に努力している。農業委員会で支援したいので、相談をしていただきたい。



支障木により収穫不能の水田

● 農業で食べていける
対策を

藤原 金になり、食べていける農業にするために、耕作放棄地を活かしたふるさと納税の返礼品としての土産品を研究開発してはどうか。

町長 町は唐辛子の普及に努めているが、葉草や標高の差を活かせる産品を考えていきたい。作っても売ることが難しい事を理解してお互いに農家のために頑張っていきたい。

あたしのひとこと

図書を活かした 居場所づくり

野上 寺田
武石 丸美さん



野上公民館に図書室があることさえ、ご存知ない方がいらっしやるのではないのでしょうか。図書室とは名ばかりで、気軽に入れる雰囲気ではなく、倉庫や物置き場所と化しているのが現状です。せっかく図書室があるのだからと、個々の想いや工夫、アイデアなどを持ち寄り、出し合っている。いろいろな楽しさが詰まった居場所（図書室）創りが出来るのではとの想いを描き「のがみ図書を楽しむ会」という住民グループを立ち上げました。本は

読む人によってさまざまな解釈ができます。それが魅力でもあり、感動や余韻に浸る気持ちがある。自然と想像力を膨らませていきます。活字に少しでも近づいて想像という宝庫の財産を築いてほしいと思います。マンガ本、雑誌、文庫本、歴史など多くのジャンルがありますので。読む本は何でもよいと思います。子どもさんをはじめ、子育て奮闘中のかた、子育てを終えたかた、そして知識や経験豊富な大先輩であります高齢者のかたがたに気兼ねなく立ち寄っていただき、本や雑誌を読んだり、また情報交換の場であつたりと本来の図書室という概念を取り除いた居場所（図書室）にしたいなあと思っておりますので、住民皆様が大きな御力を是非お貸しいただきたいと思っております。



野上公民館の図書室

Uターンして思うこと

飯田 北方
甲斐 誠司さん



私達夫婦は、定年退職を機に夢大吊橋オープンと同時期、飯田を終の棲家（ついのすみか）として帰郷しました。現役時代は転勤族で関東以西を十数回転居し、各地の自然と触れ合ってきましたが、心の片隅には常に故郷との比較と望郷の思いがありました。数十年ぶりに飯田で腰を据えて生活してみると以前と変わらない四季折々の自然の美しさと豊かさに改めて感動しています。しかし、新たに感じたことは子供とお年寄りの数が昔と逆転したことと商店が激減し以前のような活気が感じられなく

なつたことです。でも私の知る限り飯田の人は老若男女を問わず活力のある人が大変多いように感じられます。この豊かな大自然と皆のエネルギーをうまく調和したテーマパークができないかと時々思います。幸い飯田は豊かな山、川、温泉、高原の地です。それぞれをテーマに木を活用した施設の創設により観光客と雇用の確保ができればと夢を見えています。



天空館で働く地元の人たち

傍聴へ どうぞ

次回は3月です

当時生徒数271人6学級編成の
野上村立野上中学校
新校舎の落成を祝う地元村民

昭和24年



写真提供：町図書館所蔵「今昔写真帳」より

議会だよりについて

ご意見をお聞かせください。【議会事務局：76-3814】

編集 後記

◆ 昨年はスポーツ関係で九重町出身者の活躍が光った。特にカザフスタンで開かれた世界柔道選手権大会で菅原の梅木真美さんが女子78kg級で金メダルに輝き、リオデジャネイロ・オリンピックへの出場も期待されている。

飯田の篠原真里亜さんは女子プロゴルフアールになり、大会で優勝するなどトッププロをめざして来季の活躍が期待されている。又昨年暮れに開催された全国高校駅伝に鶴崎工業高校3年の竹石尚人君（相挟間）が、エース級が揃う花の1区で力走するなど、町民に大きな夢と感動を与えてくれた。

小さな町でも国際レベルの選手が育っていることに、誇りと感謝を持ち、今後のさらなる活躍を祈りたい。

小川 克巳

- ・ 広報委員長 大津留敏加
- ・ 副委員長 佐藤 明郎
- ・ 委員 井上 里子
- ・ 委員 小川 克巳
- ・ 委員 藤原 三治
- ・ 委員 有吉 富生